

「脱炭素」プロジェクトについて

川崎市市制100周年記念事業・
全国都市緑化かわさきフェア実行委員会事務局

COLORS, FUTURE! ACTIONS
KAWASAKI 100th



本日の趣旨



事業実施スケジュール変更の承認

- 第7回幹事会にて、本プロジェクトの「宅配再配達削減」に関する実証事業について、令和5年度中に実施する計画を承認いただいた。
- その後実証事業の取組範囲や内容につき、より綿密に検討・準備する必要があると判断し実施時期を見直し。
- 実証事業を令和6年度に変更して実施することに対してあらためて承認をいただく。

脱炭素プロジェクト全体像の報告

- 脱炭素プロジェクトの目的及び全体像、本プロジェクトの先行的取組として実施する「宅配再配達削減」に関する実証事業の位置づけについて報告する。

脱炭素プロジェクトの目的と全体像



大目的

市民ひとりひとりが
自発的に環境によいアクションをとる
文化や新しいライフスタイルをつくる



今年度のスコープ



自分らしく環境によい
宅配受け取りのライフスタイル



自分らしく環境によい
食ロスのないライフスタイル



自分らしく環境によい
移動のライフスタイル

脱炭素プロジェクトの目的と全体像



大目的

市民ひとりひとりが
自発的に環境によいアクションをとる
文化や新しいライフスタイルをつくる



PJスケジュール

2023年度

2024年度

2025年度~

今回の実証

検討・準備

実証

効果
検証

モデル事業創出

物流業界横断、他業界縦断（発送元/小売り等）によるプロジェクト拡大

モデル事業の検討・準備

検討

食品ロス関連
実証事業の
検討・実証

実証成果を踏まえた
事業化の検討

現在▶



物流



例：食品ほか（暫定）

実施スキーム（実証事業の取組）



実施スキーム

ヤマト運輸株式会社

- 物流領域での主導
- 市民周知（SNS等）

Packcity Japan株式会社

- 宅配ボックス関連の主導
- 市民周知（宅配ボックス上等）

川崎市

- スキーム構築での主導
- 市民周知（行政広報・地域連携等）

富士通株式会社

- ICT領域での主導
- デザインノウハウの提供
- 市民周知（Green Carb0n Club）

今後

物流業界横断、他業界縦断（発送元/小売り等）の参画によるプロジェクト拡大

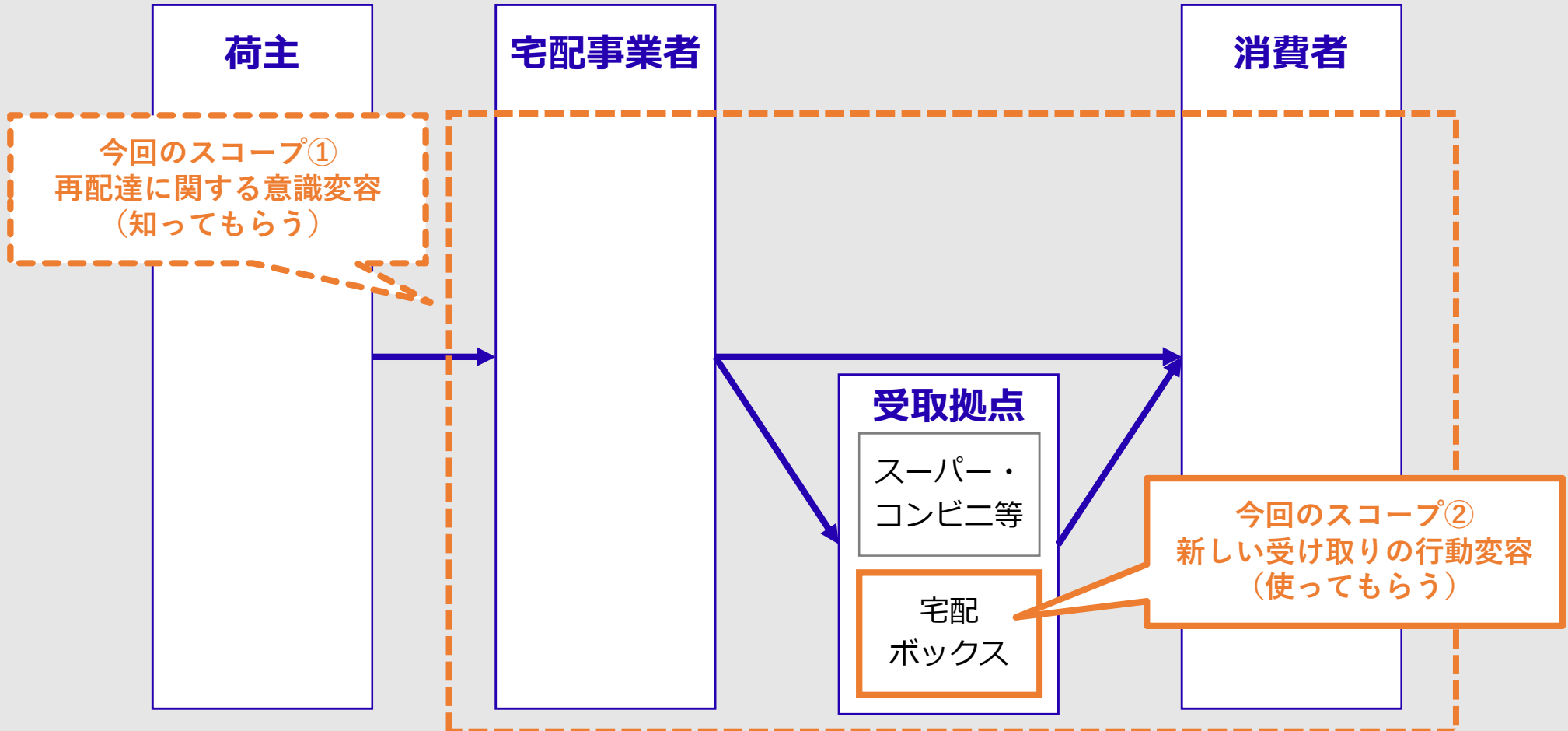
今回のスコープと施策の関係



目指す最終ゴール

川崎市内の物流における再配達を0にする

物流の流れ



物流業界における現状と課題



現状

近年、多様化するライフスタイルとともに宅配便の個数が増加している一方、宅配便の再配達はCO2排出量の増加やドライバー不足を深刻化させるなど、重大な社会問題の一つとなっている。

環境問題

宅配便の再配達によりCO2が余計に排出されており、環境問題の深刻化につながっている。

CO₂排出量への影響

年間**42万トン**のCO₂を余計に排出

$$36\text{億個} \times 0.58\text{km/個} \times 25\% \times 1\text{t} \times 0.8\text{kg-CO}_2/\text{t}\cdot\text{km} = 42\text{万t-CO}_2$$

宅配便取扱個数 (平成26年度) 宅配便1個当たりの走行距離・再配達を減く
再配達比率 積載量の平均を1tと仮定 営業用小型車のCO₂排出量単位

1年間の再配達によって排出されるCO₂の総量【1】

東京ドーム約170杯分に相当

$$\text{約}42\text{万t-CO}_2 \times 509\text{m}^3/\text{t} = 210,840,000\text{m}^3$$

$$210,840,000\text{m}^3 \div 1,240,000\text{m}^3 = 170$$

物流の2024年問題

2024年4月からトラックドライバーの時間外労働の960時間上限規制と改正改善基準告知が適用され、労働時間が短くなることで輸送能力が不足し、「モノが運べなくなる」可能性が懸念されている。

- 現状の再配達率：11.8%
- 再配達が多い層：共働き世代・一人暮らし

労働生産性への影響

年間1.8億時間、**9万人***に相当する労働力が再配達に

$$36\text{億個} \times (97\text{万回} \div 410\text{万個}) \times 0.22\text{時間} = 1.8\text{億時間/年}$$

宅配便取扱個数 (平成26年度) 全不在回数 (平成26年) 全貨物個数 宅配便1個の配達に係る作業時間 = **9万人相当***の労働力

*平均労働時間8時間/日、年間労働日数250日と仮定

課題

環境問題と物流の2024年問題解決のために、市民ができることは再配達を減らすこと
⇒ **市民の意識変容/行動変容が喫緊の課題**



企画概要

再配達による環境問題/物流問題について市民に知っていただくべく、大きく以下2点の施策を行う

PUDOラッピング



PUDO（街中の宅配ボックス）にラッピングを実施し、環境問題/物流問題の周知及びPUDOの利用促進を行う。

利用者特典



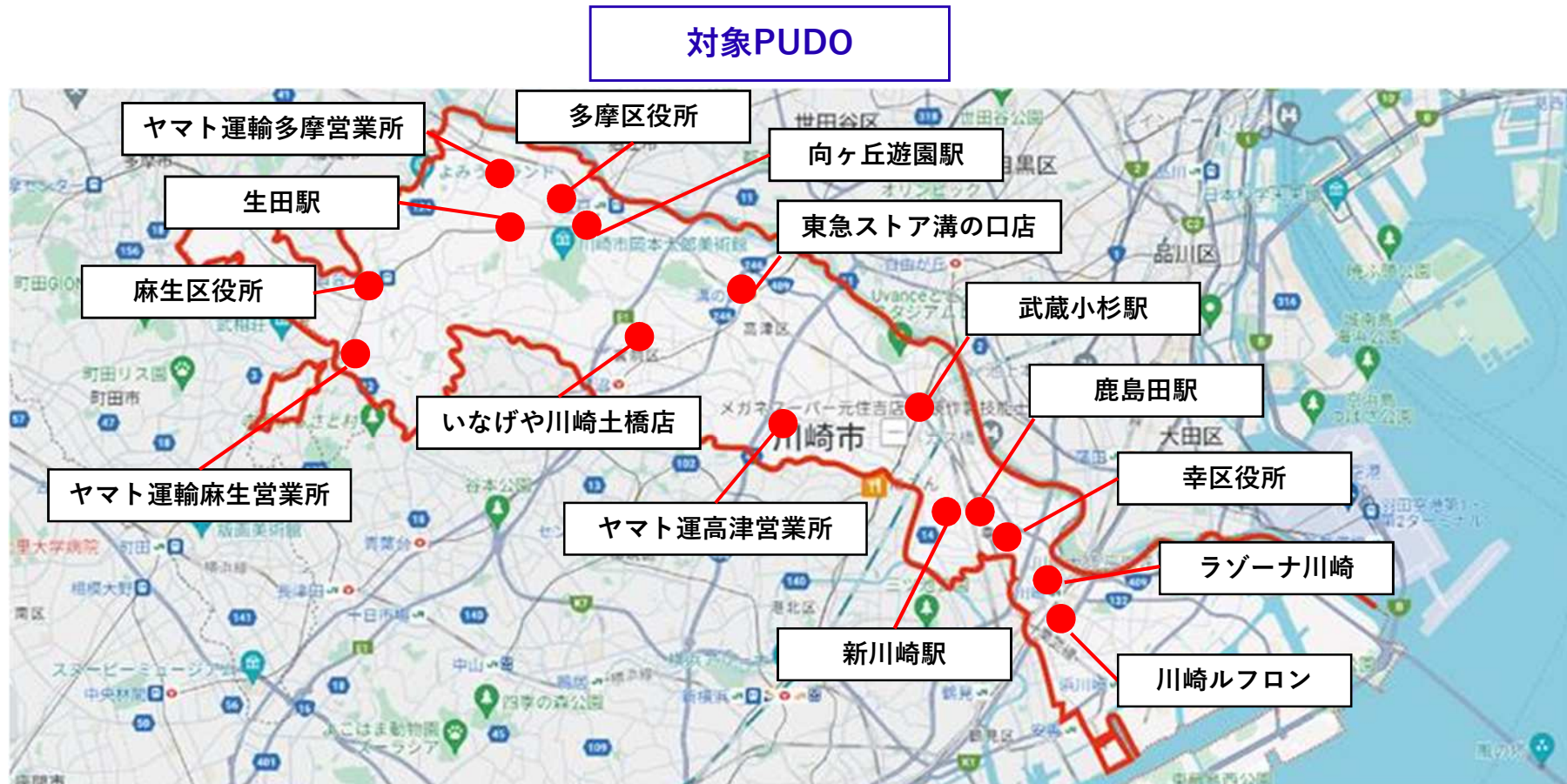
PUDOの利用者に特典を提供し、初回利用及び利用の継続を促す。

実証事業計画



PUDOラッピングについて

川崎市計15か所のPUDOにラッピング予定。
人通りが多い川崎市内主要駅を中心に、全7区での選定に向けて調整中。



実証事業計画



ダッシュボードについて

街のサイネージ及びSNSからダッシュボードWEBページへの誘導等を通じ、区ごとの一発配完（一度で配達が完了した件数）/PUDO利用数及び市民の意識変容/行動変容によるCO2削減量についても可視化。



収支計画（調整中）



〔税込み〕

収入〔千円〕	
企業支出	2,200
実行委員会予算	2,200
計	4,400

支出〔千円〕	
ラッピング(約10万/台)	1,100
利用者特典（景品等）	550
作業委託（仮）	550
広報	2,200
計	4,400

収支計	0
------------	----------

今回のスコープの詳細スケジュール（調整中）



2023年度			2024年度							
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
<div style="border: 1px solid blue; padding: 20px; text-align: center;"> <p>企画検討・準備</p> </div>			<div style="background-color: #000080; color: white; padding: 20px; text-align: center;"> <p>実証期間 (5月中旬～7月中旬)</p> </div>			<div style="background-color: #000080; color: white; padding: 20px; text-align: center;"> <p>効果検証・事業検討等</p> </div>			<div style="background-color: #000080; color: white; padding: 20px; text-align: center;"> <p>キャン ペーン当 選発表等</p> </div>	